

群馬銀行グループ

グループ総合力の発揮による多面的なニーズ対応

群馬銀行グループは連結子会社7社、持分法適用子会社2社および持分法適用関連会社1社で構成され、銀行業を中心に幅広い金融商品・サービスを提供しています。



アライアンスへの取組み

アライアンスによる付加価値の高い金融サービスの提供

群馬銀行グループは「TSUBASA アライアンス」および「フィンクロス・パートナーシップ」に参加し、業務効率化や共同化、情報共有等を行っています。

TSUBASA アライアンス

2020年12月11日付で地方銀行10行による広域連携「TSUBASA アライアンス」に参加しました。TSUBASA アライアンスは当行と同様の課題認識を共有する全国各地のトップバンク10行が広く連携する枠組みであり、共通する課題に協働して取組むことで、参加行のトップライン向上とコスト削減を図りながら、地域の持続的な成長を目指していきます。

TSUBASA アライアンスは合併や経営統合とは一線を画し、各行の独自性を尊重しながら、事務・システムの共同化や相続関連業務、国際業務、グループ会社の活用など幅広い分野で協業を行っています。今回当行が参加したことで新潟（第四北越銀行様）～群馬～埼玉（武蔵野銀行様）～千葉（千葉銀行様）の面的なつながりができました。この点も活用し、シンジケートローンの共同組成や相互招聘、お客さま同士のマッチングや地域創生などでさらに効果的な取組みを行ってまいります。

